県防水工事業協組総会

上別府理事長再選　購買事業の推進を

県防水工事業協同組合（上別府満理事長）は19日、鹿児島市のパレスイン鹿児島で17年度通常総会を開いた。厳しい業況を踏まえ、議事では購買事業の推進や品質管理の徹底等を盛り込んだ新年度事業計画を決めたほか、役員改選では上別府理事長（㈱上別府工務所）ら役員全員の留任を決めた。

総会の冒頭、上別府理事長が「工事量の激減や単価の減少、材料の値上がり等を主因に業界は依然厳しい状況にある。今こそ、会員一丸となって知恵を出し合い、この状況を乗り切っていこう」と挨拶。

議事では、山崎洋専務理事（㈱山崎商会）を議長に全7議案を審議。16年度事業・収支決算報告及び17年度事業計画・収支予算案を全会一致で可決承認した。

また、任期満了に伴う役員改選では、上別府理事長、山崎専務理事を含む理事7人、監事2人の留任を決めた。

新年度事業計画は、①購買事業の推進②組合検査の実施及び品質管理の徹底③追跡調査・事前調査の実施④技術講習会や各種研修会の開催等による教育事業の充実－など。

新役員は次の通り。

理事長＝上別府満▽専務理事＝山崎洋▽理事＝原田毅（㈱南防）溝口隆志（南日防水工業㈱）濱田秀則（㈲サツマ工業）濱田光一（㈲ハヤト工業）村山伸（㈱ムラヤマ）▽監事＝木村吉秀（㈲大徳防水）堀之内浅（㈲ダイヤモンド技建）

平成17年度 鹿児島県防水工事業協同組合 通常総会

総会後、写真に納まる会員＝鹿児島市のパレスイン鹿児島で

江口浜海浜公園開園式

観光拠点として期待

江口浜海浜公園（江口漁港海岸環境整備事業）の開園式が17日、日置市の現地で開かれ、県や日置市、施工業者、地元住民ら多数が出席して、平成2年度から整備を進めている同施設の開園を祝った。

開園式では、小濵美利協賛会会長（江口漁業協同組合長）や諏訪弘美県林務水産部長（代読・上日置市長）が「素晴らしい施設ができあがり、観光拠点として期待したい」と祝辞を寄せた。

続いて、関係者がテープカットを行い、開園となった。また、伊作田小学校の4年生児童17人が「10年後の私と江口浜」と題した作文をタイムカプセルに埋めた後、児童らによるくす玉開披が行われ、家族連れら多くの人たちから拍手が湧き起こった。

同公園は、面積約4万3000㎡、総事業費45億円。主な施設は、トイレ・シャワー棟、休憩所、トイレ棟、東屋、ビーチテラス等を備え、駐車場は普通車75台、身障者用2台、大型車5台を設置。今回は一部供用開始となり、今後、安全で安心して利用できる海洋性レクリエーション基地として、緑地広場や養浜などの整備を行い、19年度完成をめざしていくことになる。

タイムカプセルに夢

ウッドスローブ工法研究会

植生状況等を診断

ウッドスローブ工法研究会鹿児島支部（上園勉支部長）は、薩摩川内市田海町の現地（平成14年3月、今別府産業㈱施工）で研修会を実施。丸太材の経年状況や吹付け枠部のコンクリートの変状、植生状況等を調査・診断した。

同工法は縦枠（吹付工枠）で全体的な斜面の安定を図り、その縦枠間に間伐材や現地発生の木材等を架設して植物の基礎工及び枠間のエロージョン防止材として用い、緑化工を導入するもの。

横枠の木材は緑化施工後3年ぐらいで腐食化し土壌に還元される。これにより、緑化面積が広くなり木本類も生育しやすい、より自然に近い斜面を復元することが可能になる。

経年状況等を現地検証する会員＝薩摩川内市の現地で

今回はその検証で、事務局の畑耕一氏（今別府産業㈱）の案内で現地に向かい、野口和彦技術委員長（林建設㈱）が調査方法等について説明。フリー工業㈱の山下健二課長がシュミットハンマーを使い、丸太腐食の進行度合を測定した。

その結果、①木本類は混植として理想的な植物相を形成②木本類は樹高1m前後で順調に生育③丸太腐食までには緑化が十分に進行して滑落はないーなどが確認された。

同行した久保公志氏（㈱三竹工業）は「自分たちがつくった施設がどのようになっているかを追跡・検証するのは技術者集団として当然のことで、今回の良好な成果を踏まえ同工法のアピールを積極的に展開していきたい」と話した。

枕崎建設業組合ボランティア

建機導入し海岸清掃

枕崎建設業組合（今給黎正成組合長）は18日、枕崎市「海の日」制定記念推進協議会が主催する清掃ボランティア活動に今年も参加して清掃作業に汗を流した。

国民の祝日でもある「海の日」に、漁港及び海岸・河川の環境美化を図り、併せて同市の地場産業でもある水産業の振興を図ろうと、枕崎市漁業協同組合、同市商工会、小中学校などの各団体等が前から実施。同組合は今年も約70人とトラック約10台、クレーン車3台を導入して参加した。

会員らは、他の参加者と共に、ビニール袋を手に海岸に打ち寄せた流木や、発砲スチロールなどを丁寧に回収。また、大きな流木などは、クレーン車を導入して回収していき、次々に搬送されるトラックの荷台にはごみが山のように積み込まれていった。今給黎組合長は「地域の活性化のためにできる限りのことをしていきたい」と語った。

参加会員は次の通り。

㈱有園建設　㈱板敷組　㈱井上工業　㈱今給黎建設　㈲香建設　㈲佳敷土建　㈲鹿島組　㈱上木原建設　㈲上木原工業　㈲茅野産業㈱　㈲鮫島興業　㈲下木原建設　㈲ダイコー建設　大雄建設㈱　㈱豊留建設　長野建設　㈱中間建設　㈲福元建設　㈲真茅工業　㈲明興建設　森建設㈱　宿里建設㈱　㈲よつもと

作業を前に写真に納まる会員＝枕崎市の現地で

吹上浜クリーン作戦

周辺住民ら約700人参加

海の日にちなんだ「吹上浜クリーン作戦」が15、16日、吹上浜の海岸周辺域で行われ、参加者らが全員で海岸に漂着した流木やごみの回収を行った。

16日に、日置市吹上町で行われたクリーン作戦には、宮路高光市長をはじめ、町内の建設関連企業などの各事業所、学校関係のほか周辺地区住民ら約700人が参加。

午前6時30分、日置市入来浜に集合した参加者らを前に宮路市長が「合併して初めてのクリーン作戦ですが、郷里の海がきれいであってほしいという思いと、愛する気持ちは皆さんと同じ。この活動を通じて、この海の素晴らしさと大切さを考えていきたい」と挨拶した後、参加者は6班に分かれて約3㎞に及ぶ海岸一体に漂着した流木やペットボトル、ビニール袋、発砲スチロールなどのごみを、丁寧に回収。参加者らの懸命な努力により真夏を迎えた海岸一体はきれいに清掃された。

参加者らと共に奮闘作業に励む宮路市長（右）＝日置市の吹上浜で

平賀ねぶた祭in知覧

田代住建も堂々参加

知覧町の夏の風物詩でもある「平賀ねぶた祭in知覧」が16日、同町中郡のメーンストリートで行われ、町内外からの大勢の観光客でにぎわった。

これは、同町と友好関係にある青森県平賀町との文化交流の一環として、東北三大祭りとして有名な青森県平賀町の「ねぶた祭」をこの地でも再現しようと、10年前から夏の恒例行事として行われている。今年も同県平賀町から約70人が応援に駆けつけて、華々しい「真夏の祭宴」が盛大に行われた。

午後7時30分、花火の合図と同時に大きな武者絵が描かれた5基の山車に一斉に明りが灯ると、観客らから「わあー」、「きれい」、「すごい」と一際大きな歓声があがり、山車引きの「やーやーどうー」の掛け声が周囲に響き渡ると、観客の興奮も一気に最高潮となった。

今年の最前列には、第1回目から参加している㈲田代住建（田代治之社長）と協力会社で構成される山車が一番山車を務め、田代社長をはじめとしたメンバーらも沿道からの歓声を浴びながら、威勢良く練り歩いた。田代社長は「この祭も知覧の夏の風物詩としてすっかり定着しました。これからも、地域の活性化のためにできる限りのことをしていきたい」と語った。

勇壮な姿で練り歩く田代住建